

「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会地域連携室

平成 29 (2017) 年 4 月・第 18 号

☆多職種連携推進のための「河内長野市れんけいエチケット集」を発行中。希望の場合は、下記地域連携室迄ご連絡を！なお、医師会ホームページ(地域連携室⇒エチケット集)から、PDF版のダウンロードも可能となっている。

☆河内長野市ブルーカードシステム(休日夜間病状急変時対応システム)が稼働中。かかりつけの患者さんに、「ブルーカード」を発行するには、「登録医」の申込みが必要。随時「登録医」の登録申込みを受付中。詳細は、下記地域連携室迄ご連絡を！

◇河内長野市地域ケア会議ブルーカードシステム推進委員会：3月15日(水)開催(於・河内長野市医師会館) 第3回開催。ブルーカードシステムの運用状況(下記)報告の後、意見交換。特に、登録医側の感想等の他、連携病院側の意見として、「ブルーカード」の記載について、「(救急受診後) どういう治療をしてほしいのか(してほしくないのか)を書いてくれると有難い」など出来るだけ沢山の情報がほしいとの要望があった。参考として、「河内長野市れんけいエチケット集」、大阪府の在宅医療推進事業に関する資料等が配布された。

※登録医：35名(登録医療機関：29機関)、「ブルーカード」発行：13件、「ブルーカード」不受理：2件、「ブルーカード」発動：0件、「ブルーカード」未発動入院：1件

◎第41回在宅サロン：3月4日(土)開催(於・河内長野市医師会館)。参加113名

三井良之先生(近畿大学医学部総合医学教育研修センター教授)が「Parkinson 病診療と生活支援ー地域で診る Parkinson 病ー」を講演。その中で、三井先生は「地域包括ケアシステム構築のためには、一番良いモデルとなるのが、この Parkinson 病による地域連携である」と発言し、従来のシステム志向(システム構築重視)から、ネットワーク志向(連携重視)に発想を切り換えるべきと強調。

◎第4回「れんけいカフェ」：3月8日(水)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)。参加14名。

河内長野市地域ケア会議広報紙「多職種連携マガジン」の編集会議が行われ、3月中に発行とした(3月21日発行となった)。続いて、地域における医療介護連携等について、フリートーキング。住民への啓発活動の重要性、ボランティア育成の必要性などの意見が出された。次回開催は未定。

※「れんけいカフェ」は、地域における“顔の見える”多職種連携の推進を目的に、昨年10月26日に第1回を開催した。「河内長野市れんけいエチケット集」の編集はじめ、地域における医療介護の諸課題等のフリートーキングを実施。参加は自由。詳細は、下記地域連携室迄ご連絡を！

◇河内長野市との懇談：3月15日(水)、3月24日(金)に保健福祉部の担当者と、今後の河内長野市地域ケア会議の運営はじめ喫緊課題について協議、意見交換など。

□日本医師会「都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会」：3月1日(水)開催(於・日本医師会館)

①平成29年度介護報酬改定の概要、②改正道路交通法(認知症高齢者の自動車運転問題)への対応、③地域支援事業における全国の先進的な取組み(熊本県・埼玉県・福井県)等の説明、講演が

あった。①では、今回介護人材の処遇改善（月額1万円相当）を実施するため、臨時に1.14%の介護報酬のアップを行う。介護報酬は3年毎の改定が基本だが、途中改定は今回で3度目。

□大阪府医師会「介護保険研修会・主治医意見書作成に関する説明会」：3月4日（土）開催（於・大阪府医師会館）
地域包括ケアシステム構築に向けて、地区医師会の役割の重要性が謳われるとともに、「多機関・多職種連携プラットフォーム」の構築、設置が強調された。なお、ここでの“プラットフォーム”とは、コミュニケーションを図る場であり、地域づくりや住民啓発の拠点であるとし、(1)行政と地区医師会との信頼度の向上、(2)多職種の精神的・肉体的負担の軽減、(3)住民意識の醸成等が図られる効果があるとした。他に、主治医意見書作成にあたっての注意点等が伝達された。

□「大阪府在宅医療推進事業ヒアリング・補助金検査」：3月9日（木）開催（於・河内長野市医師会館）
標記の事業運営に関して、大阪府健康医療部保健医療室の検査があった。問題はなく「行政との連携、病診連携は他市でも大きな課題であるが、河内長野市は旨くされている」との好評価を得た。

□「大阪府在宅医療推進事業実績報告会」：3月12日（日）開催（於・大阪府医師会館）
基調講演、37地区医師会からの実績報告（本会は森本在宅医療推進コーディネータが発表）の後、合同まとめが行われ、更なる病診連携の推進、社会資源のリスト（マップ）化、訪問看護体制の強化、隣接市町村との連携促進などが強調された。その中で、黒田研二座長（大阪府医師会介護・高齢者福祉委員長、関西大学人間健康部教授）からは、河内長野市における取り組みを評価する意見が出された。

☆【Topics】

○「河内長野市おれんじカフェ」：認知症の人が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしていけるよう、心の拠り所、地域の人との交流の場として、「認知症カフェ」が全国各所で開かれている。河内長野市では「おれんじカフェ」と呼称し、現在5ヶ所設置されている。

○訪問看護ステーション（ST）：厚生労働省の資料によれば、ST数は全国で8,613ヶ所（平成28年）におよび、近年増加が著しい。人口10万人当たりのST数は全国平均6.8ヶ所。人口10万人強の河内長野市には、現在下記のST（サテライト含む）がある。

ステーション(ST)名 <50音順>	TEL	FAX
青山第二病院訪問看護ST	64-8181	64-1291
かなえるリハビリ訪問看護STサテライト南	63-3355	63-3377
河内長野市医師会訪問看護ST	56-1100	56-2200
ケア南海(株)訪問看護ST	52-0211	52-0232
さざんかリハビリ訪問看護ST	81-3335	81-3336
寿里苑訪問看護ST	50-2941	50-2940
訪問看護ST河内長野	56-8600	56-8602
訪問看護STデューン河内長野・三日市	55-3061	55-3062
訪問看護STなのはな	55-3507	55-3508

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL：54-1700 FAX：54-1567>

<メールアドレス：chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>